



陸軍第一造兵廠のマーク

北區史を考ふる会

Association of Study on History of Kita-City in Tokyo

会報
第159号

発行 北区史を考ふる会

郵便振替 00130-6-47111

第四九七回 月例研究会 1月25日(土) 講演
近現代の戦争遺跡を

中心として

木村清治

はじめに

大学での同窓の下田正幸氏の依頼で講演をさせて頂きました。

昭和23(一九四八)年の生まれで昭和29年に王子第五小学校に入学のいわゆる団塊の世代の真ん中です。昭和41年に中央大の文学部国史学科に入学、昭和45年の卒業後に直ちに大学院修士課程文学研究科に入学、昭和47年に卒業しました(1)。

卒業後は、歴史教育に進み最初に教壇に立ったのは、埼玉県立浦和西高校講師(日本史)で、最後は東京薬科大学(2)の教職課程教授・講師で、教員養成を担当して、教員生活を卒業しました。

それでは、軍都のなごりを探って行きます。

見学コース

十条駅西側の改札口(JRは北口と称していません)↓帝京大学四号館(旧富士見中学校)脇の陸軍用地石標↓左に帝京大と右板橋区立加賀中の間の道路を進み十字路をさらに直進↓電気軌道車軌道跡↓環状七号線高架下トンネル跡(今は塞がっています)↓環状七号線↓陸軍用地石標・稲付射爆場跡(現北区梅木小学校)↓十条から線路沿いを南下するのが最短↓加賀学園通り↓電気軌道車の橋脚跡(十条台橋の上から)

↓憲兵詰所跡↓滝野川工廠跡・陸軍用地石標↓一造本部建物↓ボイラー(部分)と鋼製耐震煙突銘板↓陸軍用地石標↓北区立中央図書館↓自衛隊十条駐屯地東脇のモニュメント↓防衛庁石標↓陸上自衛隊駐屯地内見学↓北区立十条富士見中学校・一造煉瓦塀跡

電気軌道車橋脚跡



現在の埼京線は、もとは山手線として造られたもので、品川と赤羽間が明治18(一八八五)年に開通し、十条駅の開業は、明治43年のことでした。上の写真の埼京線車両の先頭の先の両側に見えるのが、一造と二造を繋ぐ電気軌道車の橋脚の跡です。

憲兵詰め所跡

滝野川四丁目にあり、一造と滝野川工場を結ぶ位置なので、詰め所と考えられています。



目次

・近現代の戦争遺跡を中心として	木村清治	1
・滝野川反射炉とフェイクニュース?	馬場永子	4
・鎌倉歴史散歩 極楽寺・長谷寺周辺部	室岡之	6
・「十条台」駐屯地ものがたり(7) 滝野川四本木稲荷に旧軍各工場の跡を見た	八木司郎	8